

ポストコロナの実験室のあり方を考える

「ポストコロナの安全管理・教育」

大学等研究機関や企業が抱える課題についてセミナー形式で行う勉強会

レゼミナル
REH Seminar

2022. 3. 30 WED 14:00~17:00

Zoomによるオンライン形式

新型コロナウイルスの感染拡大は、実験研究現場にも非常に大きな影響をもたらした。講義、会議等のオンライン化等の仕組みが急速に整えられた一方で、特に実験研究の場合、これをオンラインやバーチャルで代替することは難しい。コロナ対策を忠実に守ろうとした場合、実験に関わる機会や時間は必然的に制約を受けることになる。安全教育についても、OJT的なトレーニングを含め十分な体制を確保することが難しい状況にある。今回のREH Seminarでは、ポストコロナの安全管理・教育をテーマとして取り上げ、教育現場の現状、オンラインでの安全教育の実例、企業側での取り組みや課題についてご講演頂くとともに、今後の安全管理や安全教育の方向性や具体的な対策について、グループディスカッション形式で意見交換を行う。このグループディスカッションでは、教育する側と受ける側の双方からの意見交換を積極的に進めたいので、就職して間もない若手の社員の方やこれから企業で活躍することが期待される学生の方にも広く参加して頂きたい。

1. 話題提供：
 - ・「コロナが大学に与えた影響」 山本 仁 先生（大阪大学）
 - ・「コロナ禍における大学の安全教育の工夫」 辻 佳子 先生（東京大学）
 - ・「企業の新人教育に対するコロナの影響」 中村 隆秀 氏（東洋合成工業株式会社）
2. グループ討議（ブレイクアウトセッション形式）：数名ずつグループに分かれ、与えられた具体的なテーマについて意見交換
3. 全体討議・総括

参加申し込みは URL：<https://forms.gle/t9XQSSZ4aLTWYEW7> まで（参加費無料）

問い合わせ TEL：080-4383-2007 / E-Mail：jimukyoku@rehse2007.com

